

病虫害発生予察注意報第3号

平成22年7月1日
三重県病虫害防除所

1. 対象作物 中晩柑類かんきつ
(甘夏、カラ、セミノール等)
2. 病虫害名 カンキツかいよう病
3. 発生地域 南勢及び東紀州地域
4. 発生時期 6月下旬～10月
5. 発生量 多い

6. 注意報発令の根拠

- (1) 巡回圃場（中晩柑類）における調査では、6月上旬の平均新葉発病葉率6.0%、平均発病度1.2（9年平均0.6）であったのが、6月下旬にはそれぞれ31.3%、13.1（7月上旬の9年平均1.8）と増加し（表）、近年になく多くなっています。
- (2) 県予察圃（無防除園）における調査では、6月上旬の平均新葉発病葉率5.7%（平年8.7%）とやや少であったのが、6月下旬には11.0%（平年10.2%）と平年並の水準に増加しています。
- (3) 南勢及び東紀州地域の一般圃場における発生量も多く、中晩柑類だけでなく、一部の早生温州みかんの新葉で発病が認められます。

表 巡回圃場における発病状況

調査圃場	(品種)	平均新葉発病葉率		発病度	
		6月上旬	6月下旬	6月上旬	6月下旬
南伊勢町船越	(セミノール)	0%	0%	0	0
南伊勢町五ヶ所浦	(カラ)	6%	36%	1.4	8.0
紀北町紀伊長島区海野	(新甘夏)	0%	2%	0	0.3
御浜町下市木	(カラ)	4%	38%	2.3	18.0
御浜町阿田和(中立)	(新甘夏)	2%	68%	2.0	35.4
紀宝町大里(田代)	(セミノール)	6%	44%	1.4	17.1
平均		6.0%	31.3%	1.2	13.1

※6月上旬は3～4日に、6月下旬は24～26日に調査しました。

7. 防除対策と注意事項

- (1) 罹病葉及び罹病枝は可能な限り取り除き、園外に持ち出して適切に処分してください。
- (2) 風当たりの強いところでは、風雨による傷を回避するために、防風網等を設置してください。
- (3) 夏秋梢は感染しやすく、またミカンハモグリガの被害を受けると、さらに発生を助長するので注意してください。
- (4) 降雨があると感染が広がるので、雨の合間に防除してください。なお、散布にあたっては薬剤の登録内容をよく確認してください。